

プロジェクト要件

DAWN-SNSシステム

本資料の目的

システムの開発を行っていくうえで
各種設定を明確化させる

- ・一つのプロジェクトを進める時に、各種資料が必要となってきます。
- ・本資料では、開発プロジェクトの中では「要件定義書」にあたいます。 プロジェクトを進めていくうえでの「決めごと」を明確化することを目的 とします。

目次

1. 本要件定義について
2. プロジェクトの目的
3. プロジェクトスコープ
4. プロジェクトを通じて求めるもの
5. インフラ要件
6. テスト方法について
7. 課題クリア条件

1.本要件定義について

■ 要件定義書でまとめるもの

- ・本プロジェクトで「実施すること」と「実施しないこと」を明確にした資料
- ・また、本プロジェクトで実施することの「実施方法」を定義した資料です

■ プロジェクトで利用するその他資料

- ・簡易基本設計書
 - DB設計 / ページ遷移図 / システム概要図 / 基本機能一覧 / etc...
- ・タスクリスト
- ・開発環境手順書

2.プロジェクトの目的(架空の想定)

■ DAWN運営が提供する、SNSサイトの開発

・世に提供されているSNSサービスとは違う、新しいSNSシステムを生み出し、飽和状態となりつつある業界に一石を投じたい。

■ 開発のPhase1(第1段階)として、SNSサービス内の基本機能を実装するのが本プロジェクトの目的となります。

・このプロジェクトでは、新しい機能を作り出す前に用意しておくべき、SNSシステムにおける最低限必要な機能を作ることを最終目標とします。

※上記の目的は、このプロジェクト用に想定した仮の内容となります。

3.プロジェクトスコープ

■ 各資料に記載している内容に合わせる

・自身が作りたいと思った内容は、カリキュラムとして終わった後に作成していただきます。

■ 要望以外の機能は実装しない

・スケジュールの遅延や作業量の増加を防ぐため、クライアントが希望する内容以外を勝手に作ることはやめましょう。

・本来であれば、この要件定義書をまとめていくときに開発側も意見を出し合いますが、今回は要望として受けた機能を作り上げられるようになります。

・レスポンスデザインは考慮しない。PC(ブラウザ)版としての完成をまずは目指していきます。

4.プロジェクトを通じて求めるもの

- ①. DAWNで学んできたことで、自身がどのレベルのwebサービスまで作れるようになっているのかを体感してもらう。
- ②. DAWNで学んでいない範囲を自身で調べながら実装していく。現場でも必要となってくる「問題解決能力」を培っていきます。
- ③. 問題解決能力の延長線上で、調べても解決の糸口が見つからない時や相談ごとがあれば、教育者に状況と内容を伝えて、「相談できる環境」を自身で作っていけるようにする。
- ④. 1行1行のコードでどのような処理が行われているか、処理の流れを読み解けるようになる

5.インフラ要件

■ 本番環境は不要

・Phase1の段階ではネット上に公開しないので、本番環境のインフラ要件は提示いたしません。

■ 開発環境はhomesteadで行う

・まずは基本機能を作り上げていくプロジェクト前提のもと、本番,テスト環境関係なく「開発できる環境」を用意してみる。

・開発環境の各インフラ設定は、「簡易基本設計書」に記載いたします。

・MAMP,XAMPPを使った環境を使用するのは、原則として上記homesteadの構築がどうしてもうまくいかない時に限るものとします。

プロジェクト要件

DAWN-SNSシステム

本資料の目的

システムの開発を行っていくうえで
各種設定を明確化させる

- ・一つのプロジェクトを進める時に、各種資料が必要となってきます。
- ・本資料では、開発プロジェクトの中では「要件定義書」にあたいます。 プロジェクトを進めていくうえでの「決めごと」を明確化することを目的 とします。

目次

1. 本要件定義について
2. プロジェクトの目的
3. プロジェクトスコープ
4. プロジェクトを通じて求めるもの
5. インフラ要件
6. テスト方法について
7. 課題クリア条件

1.本要件定義について

■ 要件定義書でまとめるもの

- ・本プロジェクトで「実施すること」と「実施しないこと」を明確にした資料
- ・また、本プロジェクトで実施することの「実施方法」を定義した資料です

■ プロジェクトで利用するその他資料

- ・簡易基本設計書
 - DB設計 / ページ遷移図 / システム概要図 / 基本機能一覧 / etc...
- ・タスクリスト
- ・開発環境手順書

2.プロジェクトの目的(架空の想定)

■ DAWN運営が提供する、SNSサイトの開発

・世に提供されているSNSサービスとは違う、新しいSNSシステムを生み出し、飽和状態となりつつある業界に一石を投じたい。

■ 開発のPhase1(第1段階)として、SNSサービス内の基本機能を実装するのが本プロジェクトの目的となります。

・このプロジェクトでは、新しい機能を作り出す前に用意しておくべき、SNSシステムにおける最低限必要な機能を作ることを最終目標とします。

※上記の目的は、このプロジェクト用に想定した仮の内容となります。

3.プロジェクトスコープ

■ 各資料に記載している内容に合わせる

・自身が作りたいと思った内容は、カリキュラムとして終わった後に作成していただきます。

■ 要望以外の機能は実装しない

・スケジュールの遅延や作業量の増加を防ぐため、クライアントが希望する内容以外を勝手に作ることはやめましょう。

・本来であれば、この要件定義書をまとめていくときに開発側も意見を出し合いますが、今回は要望として受けた機能を作り上げられるようになります。

・レスポンスデザインは考慮しない。PC(ブラウザ)版としての完成をまずは目指していきます。

4.プロジェクトを通じて求めるもの

- ①. DAWNで学んできたことで、自身がどのレベルのwebサービスまで作れるようになっているのかを体感してもらう。
- ②. DAWNで学んでいない範囲を自身で調べながら実装していく。現場でも必要となってくる「問題解決能力」を培っていきます。
- ③. 問題解決能力の延長線上で、調べても解決の糸口が見つからない時や相談ごとがあれば、教育者に状況と内容を伝えて、「相談できる環境」を自身で作っていけるようにする。
- ④. 1行1行のコードでどのような処理が行われているか、処理の流れを読み解けるようになる

5.インフラ要件

■ 本番環境は不要

・Phase1の段階ではネット上に公開しないので、本番環境のインフラ要件は提示いたしません。

■ 開発環境はhomesteadで行う

・まずは基本機能を作り上げていくプロジェクト前提のもと、本番,テスト環境関係なく「開発できる環境」を用意してみる。

・開発環境の各インフラ設定は、「簡易基本設計書」に記載いたします。

・MAMP,XAMPPを使った環境を使用するのは、原則として上記homesteadの構築がどうしてもうまくいかない時に限るものとします。

7.課題クリア条件

■ 完成品を、教育者と一緒にチェックいたします。(顧客環境ではないが、本プロジェクトにおける総合テスト)

- ・項目シートの全てにチェックができればOKです。

- ・要件に満たしていない箇所があれば、作り直して再チェックを行います。これを繰り返していきます。

6.テスト方法について

■ 単体(ユニット)テスト

・コード1つ1つの処理をチェックしていくのが、本プロジェクトにおける単体テストとします。

・デバッグ関数または、Laravelに備わっているエラーログを利用してバグの原因を突き止めることに慣れていってください。

■ 結合テスト

・ログイン,ユーザー登録といった、ひとまとまりの機能のチェックをしていくことを結合テストとします。

・ブラウザ上に表示された機能箇所を実際にさわって、手動で「様々な値を入れてみる」「機能の対応が、要件に満たしているかを確認する」をし、ケースを想定して動かしてみてください。

6.テスト方法について

■ 単体(ユニット)テスト

・コード1つ1つの処理をチェックしていくのが、本プロジェクトにおける単体テストとします。

・デバッグ関数または、Laravelに備わっているエラーログを利用してバグの原因を突き止めることに慣れていってください。

■ 結合テスト

・ログイン,ユーザー登録といった、ひとまとまりの機能のチェックをしていくことを結合テストとします。

・ブラウザ上に表示された機能箇所を実際にさわって、手動で「様々な値を入れてみる」「機能の対応が、要件に満たしているかを確認する」をし、ケースを想定して動かしてみてください。

7.課題クリア条件

■ 完成品を、教育者と一緒にチェックいたします。(顧客環境ではないが、本プロジェクトにおける総合テスト)

- ・項目シートの全てにチェックができればOKです。

- ・要件に満たしていない箇所があれば、作り直して再チェックを行います。これを繰り返していきます。